

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)7月15日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆新型コロナウイルス感染症について

- 引き続き新型コロナウイルス感染拡大の防止にご協力くださいますようお願いいたします。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、感染防止の3つの基本である、1. 身体的距離の確保、2. マスクの着用、3. 手洗いや、「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。
- 市民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- 次の症状がある方は下記を目安に、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。○少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。(これらに該当しない場合の相談も可能です。)
 - 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
 - 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)
- センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。
- 本市で設置している「帰国者・接触者相談センター」については、下記の本市公式ウェブサイトをご覧ください。

帰国者・接触者相談センター一覧（名古屋市）

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000125533.html>

- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルスに関連する肺炎について（名古屋市）

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

- 令和2年5月29日に感染症発生動向調査事業実施要綱が改正され、新型コロナウイルス感染症の届出等については、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS(ハーシス)）への入力により行うことを基本とされました。

〔新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします〕

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。

日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないように工夫しましょう。

①換気の悪い
密閉空間



②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



（出典：厚生労働省 HP、首相官邸 HP より）

〔名古屋市及び愛知県における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況：7月14日現在〕
7月14日現在、名古屋市内では **298人**の感染者（再陽性患者件数を含む）が確認されています。感染者情報の詳細については下記リンクより記者発表資料をご覧ください。

- 市内の新型コロナウイルス発生状況（名古屋市）

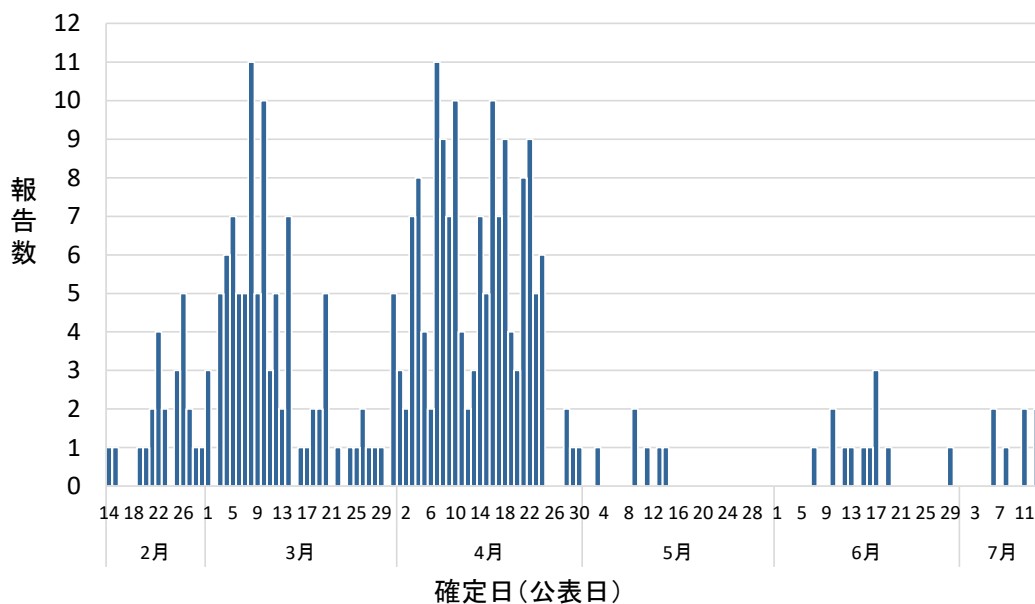
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>

- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト（愛知県）

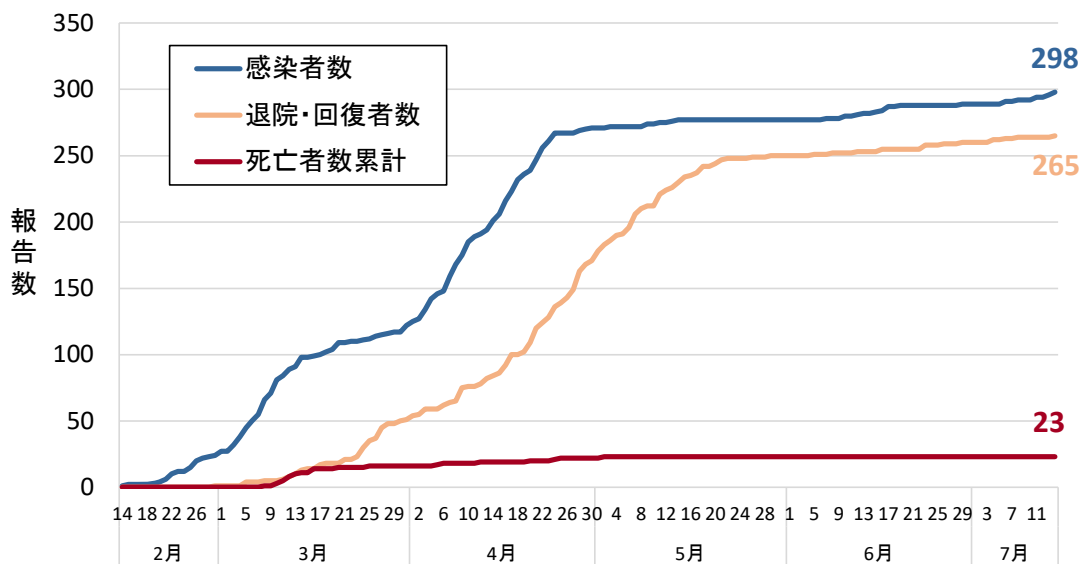
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>

〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数：7月14日現在〕

新型コロナウイルス感染者数(名古屋市 n=298)



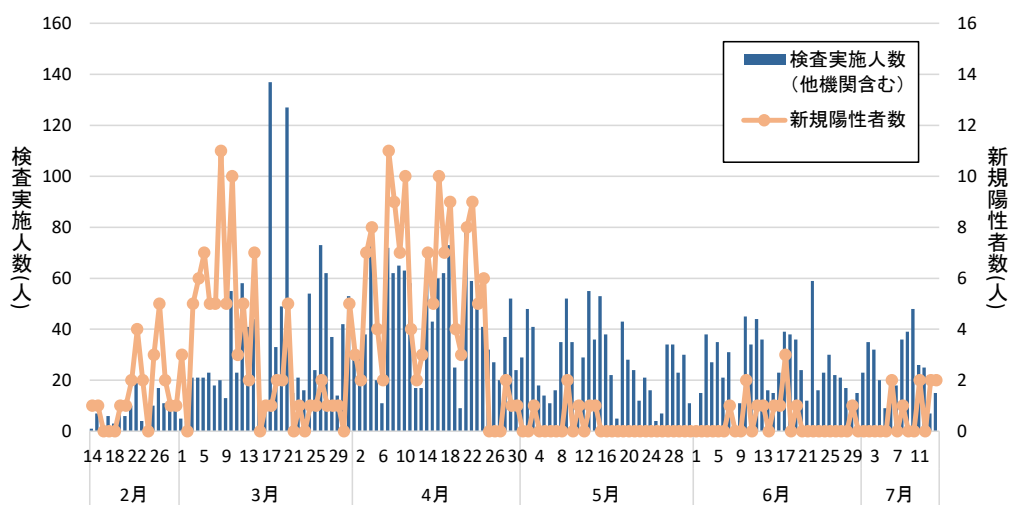
感染者数、退院・回復者数、死亡者数の累計(名古屋市)



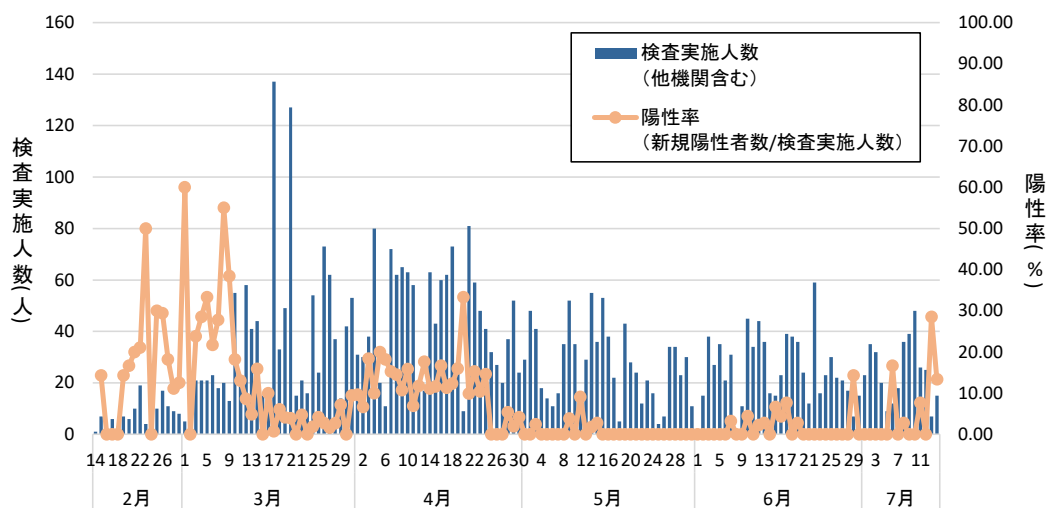
〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数：7月14日現在〕

掲載データは、本市公式ウェブサイト「市内の新型コロナウイルス発生状況」の「名古屋市の陽性患者・検査実施人数データ（2020年7月14日時点）」を使用しています。検査実施人数は、本市の疑い患者としてPCR検査を行ったものを掲載しており、名古屋市衛生研究所、名古屋市PCR検査所での実施数のほか、発表時点で本市が把握している他機関の検査数も含まれます。（陽性患者の陰性化確認のための検査は除く。）掲載している数値については速報値であり、後日修正されることがあります。

検査実施人数と新規陽性者数(名古屋市)

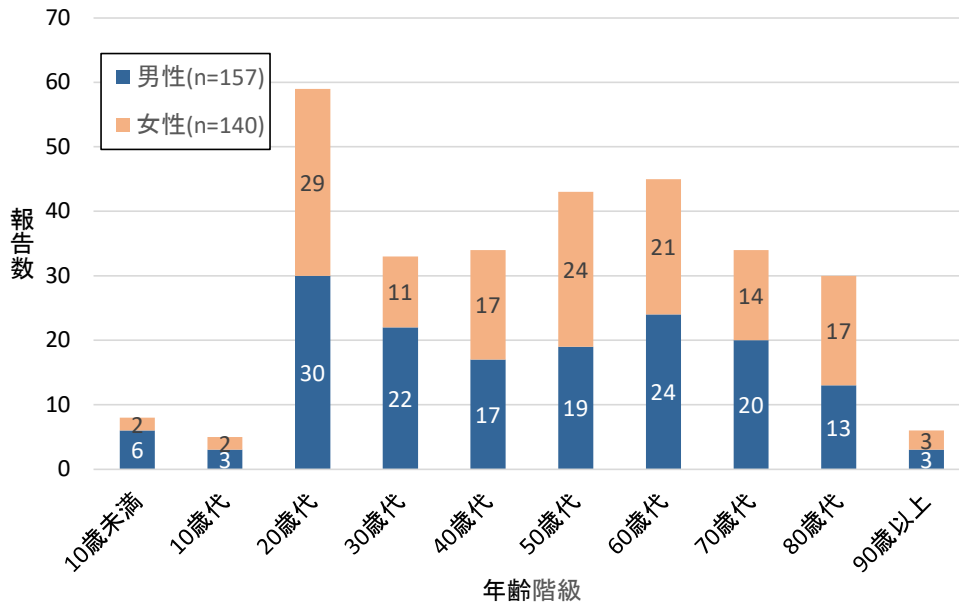


検査実施人数と陽性率(名古屋市)



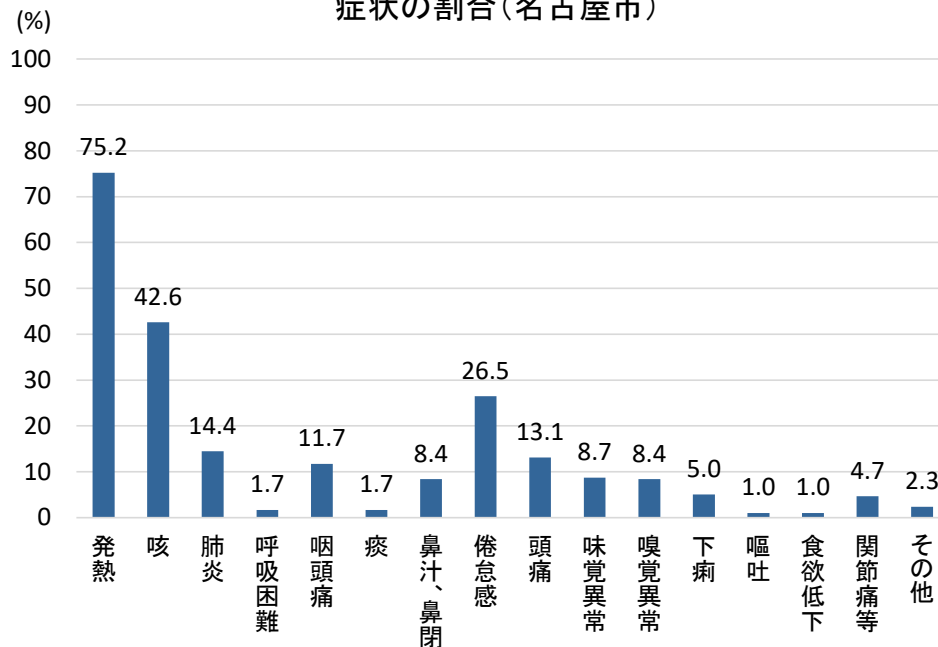
〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数：7月14日現在〕

性別・年齢階級別報告数(名古屋市)



(年齢非公表の1名を除く)

症状の割合(名古屋市)

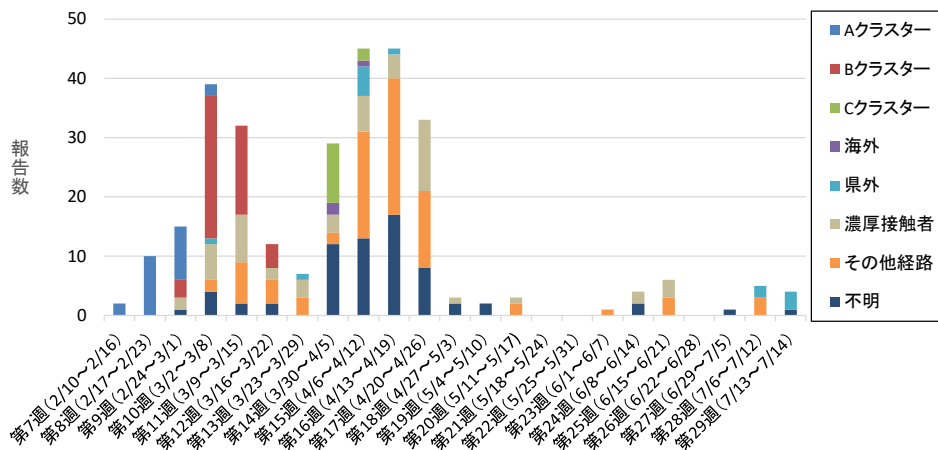


(本市記者発表資料より集計)

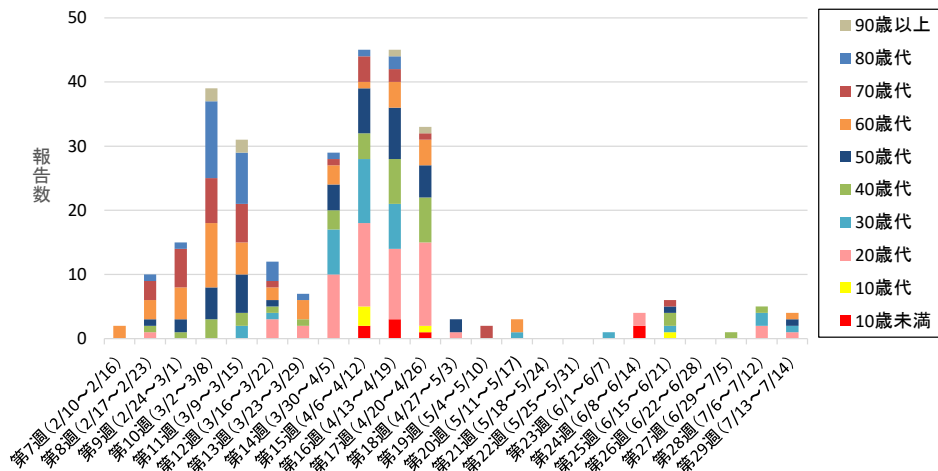
〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数：7月14日現在〕

推定感染経路は本市記者発表資料等を参考に当所にて推定したものです。報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります。

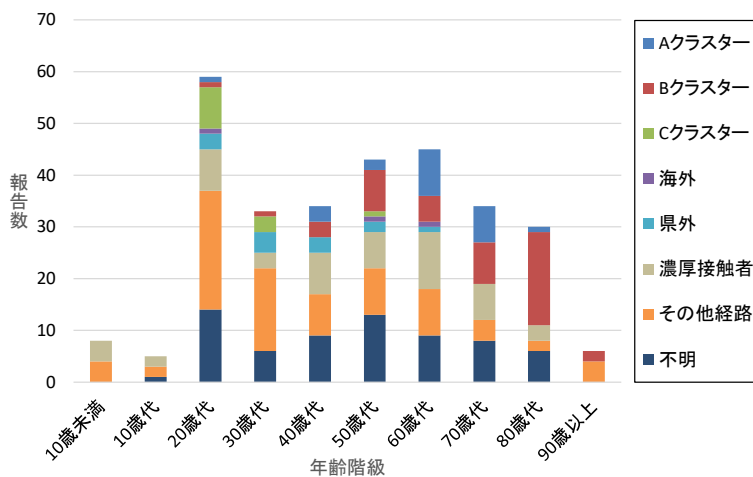
感染者数と推定感染経路(名古屋市)



感染者数と年齢階級(名古屋市)



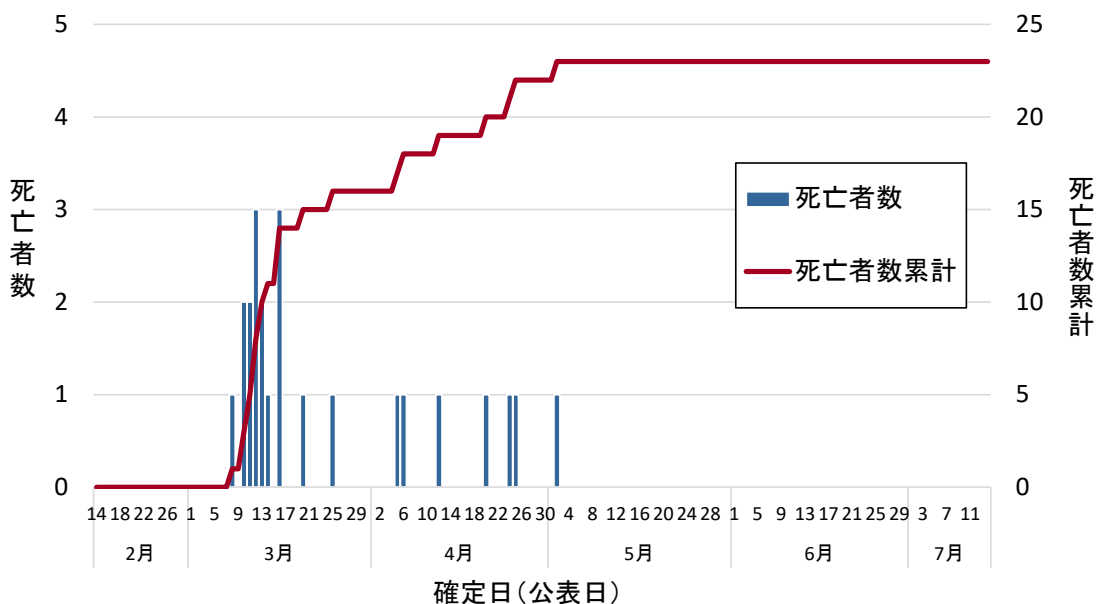
年齢階級と推定感染経路(名古屋市)



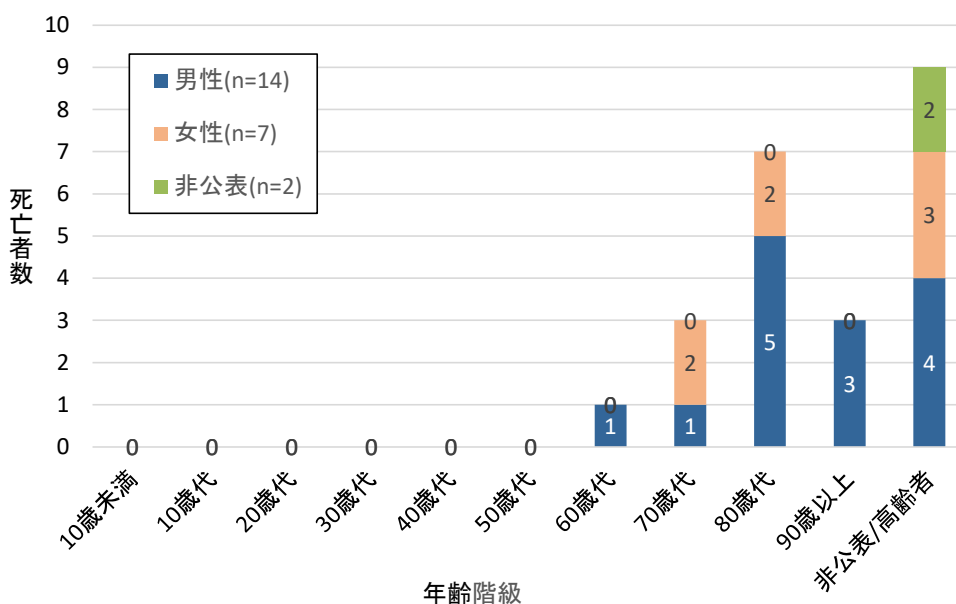
〔名古屋市における新型コロナウイルスに関連した死亡者（7月14日現在）〕

7月14日現在、新型コロナウイルスに関連した死亡者は名古屋市内23人となっています。

新型コロナウイルス死亡者数(名古屋市 n=23)



性別・年齢階級別死亡者数(名古屋市)



◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 咽頭結膜熱が過去3年間の同週の平均値の0.1倍と低い。
- 手足口病、ヘルパンギーナが過去3年間の同週の平均値の0倍と低い。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 28週	2類感染症	結核	9	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、85歳、結核性リンパ節炎 • 男性、81歳、結核性リンパ節炎 • 女性、85歳、結核性胸膜炎 • 男性、83歳、肺結核 • 女性、85歳、肺結核 • 女性、36歳、肺結核 • 女性、98歳、肺結核 • 男性、72歳、肺結核 • 男性、78歳、肺結核
2020年 28週	指定	新型コロナウイルス感染症	5	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、20歳代、市内在住 主な症状：発熱 • 男性、40歳代、市内在住 主な症状：発熱、咳、咽頭痛、倦怠感、痰 • 男性、30歳代、市内在住 主な症状：発熱、倦怠感 • 女性、30歳代、市内在住 主な症状：倦怠感、発熱、咽頭痛、頭痛 • 男性、20歳代、東京都在住 主な症状：発熱、嗅覚異常

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2020 年第 28 週	3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、35 歳、感染地域：愛知県、血清型・毒性型：O26 VT1 ・女性、18 歳、感染地域：不明、血清型・毒性型：O157 VT1VT2
2020 年第 28 週	5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、71 歳、菌検出検体：皮膚の膿、菌種：<i>Serratia marcescens</i>、感染原因：以前からの保菌
2020 年第 28 週	5 類感染症	後天性免疫不全症候群	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、43 歳、無症状病原体保有者、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国内
2020 年第 28 週	5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、83 歳、菌検出検体：血液
2020 年第 28 週	5 類感染症	梅毒	3	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、38 歳、無症状病原体保有者 ・男性、68 歳、無症状病原体保有者 ・男性、42 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発 生 数	発生の概要
2020 年第 27 週	5 類感染症	アメーバ赤痢	1	<ul style="list-style-type: none"> ・男性、66 歳、腸管アメーバ症、感染原因：経口感染、感染地域：名古屋

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

2020 年第 24 週	5 類感染症	梅毒	1	・男性、48 歳、早期顕症梅毒 2 期
--------------	--------	----	---	---------------------

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	263 (59) [0] [0] 【1】
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
指定感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和 2 年 1 月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）	288
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	デング熱	3
4 類感染症	A 型肝炎	2
4 類感染症	E 型肝炎	1
4 類感染症	レジオネラ症	11
5 類感染症	アメーバ赤痢	12

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

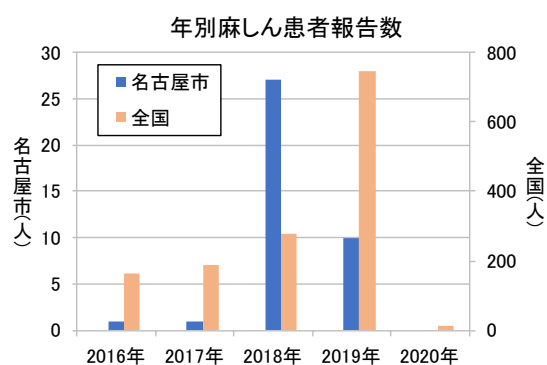
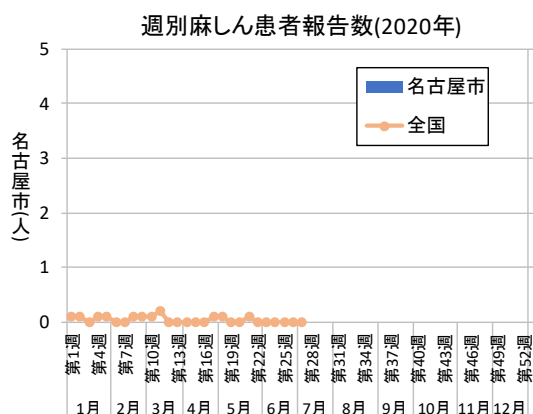
5 類感染症	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	24
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	5
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	32 (29)
5 類感染症	ジアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	30
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	4
5 類感染症	梅毒	88 (29)
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	45
5 類感染症	風しん	7
5 類感染症	ウイルス性肝炎	3

累計は 2020 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年7月15日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	第26週	第27週	第28週(7月12日)までの合計(人)
																												0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	12※2

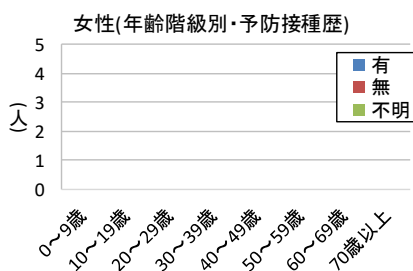
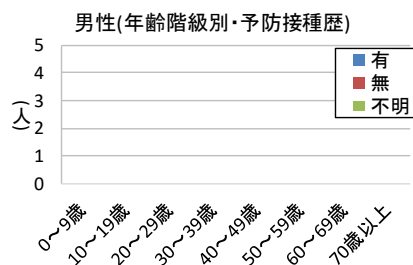
※1 第28週(7月12日)まで

※2 第27週(7月5日)まで

※3 報告数は速報値

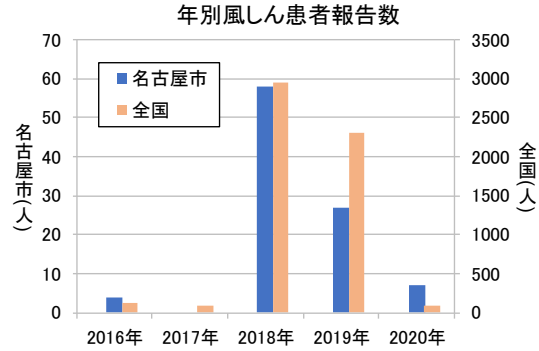
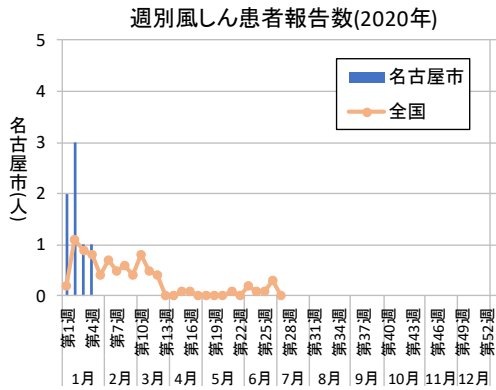
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)				0	
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	0	
総計(人)		0	0	0	



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年7月15日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30～ 1/5)	第2週 (1/6～ 1/12)	第3週 (1/13～ 1/19)	第4週 (1/20～ 1/26)					第28週(7月12日)まで の合計(人)
		2	3	1	1				

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

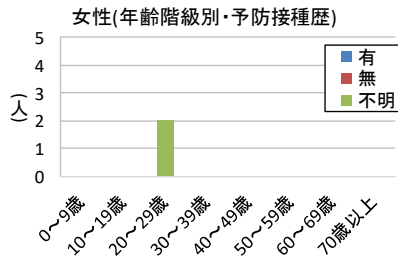
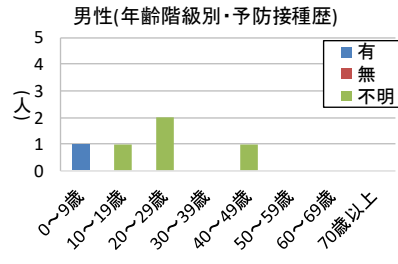
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	83※2

※1 第28週(7月12日)まで ※2 第27週(7月5日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳	1			1
	10～19歳			1	1
	20～29歳			2	2
	30～39歳				0
	40～49歳			1	1
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳			2	2
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関から報告されたコメント情報はありませんでした。

◆2020年第28週 患者報告数(疾病別)、定点あたり患者報告数(疾病別)、年齢階層別患者報告数(疾病別)

患者報告数(名古屋市)

2020年第28週(2020年7月6日~7月12日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ																	0		0.0
○RSウイルス感染症																	0		0.0
○咽頭結膜熱	1												1				2	0.7	0.1
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	1		3						1	18	5	1	1	2	1	44	1.3	0.7
○感染性胃腸炎	8	5	10	10	4	3	5			7	13	6	4	14	6	13	108	1.2	0.5
○水痘			2	1			1			1						1	7	1.8	0.5
○手足口病	1		1	1	1					1							5	1.3	0.0
○伝染性紅斑		1								2							3	3.0	0.2
○突発性発疹		2	2	4	1	1							2	1	2	2	17	1.1	1.0
○ヘルパンギーナ										5					1		6	0.8	0.0
○流行性耳下腺炎				2			1										3	3.0	0.5
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		
◇クラミジア肺炎																	0		0.0
◇感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																	0		
計	21	9	15	21	6	4	7	0	0	17	31	12	8	16	11	17	195		

★インフルエンザ定点数

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1				1	1	1	1	11
◇基幹定点数			1				1			1							3

☆○△◇は定点種別を示す。
セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

*過去3年の同週の平均値との比

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況(名古屋市)

2020年第28週(2020年7月6日~7月12日)

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ																	
RSウイルス感染症																	
咽頭結膜熱	0.2													0.3			0.0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.2	0.3		0.8						0.3	4.5	1.3	0.2	0.3	0.5	0.3	0.6
感染性胃腸炎	1.6	1.3	2.0	2.5	0.8	0.8	1.0			1.8	3.3	1.5	0.8	3.5	1.5	3.3	1.5
水痘			0.4	0.3			0.2			0.3				0.2			0.3
手足口病	0.2		0.2	0.3	0.2					0.3							0.1
伝染性紅斑		0.3								0.5							0.0
突発性発疹		0.5	0.4	1.0	0.2	0.3							0.4	0.3	0.5	0.5	0.2
ヘルパンギーナ										1.3							0.1
流行性耳下腺炎				0.5			0.2										0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値(左表)に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第28週(2020年7月6日～7月12日)

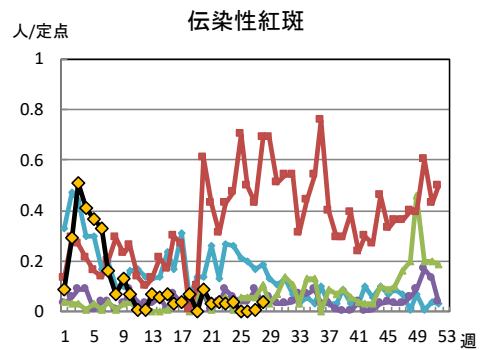
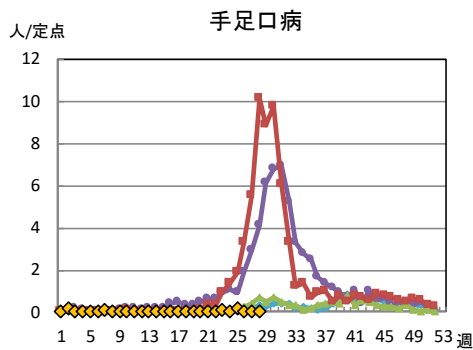
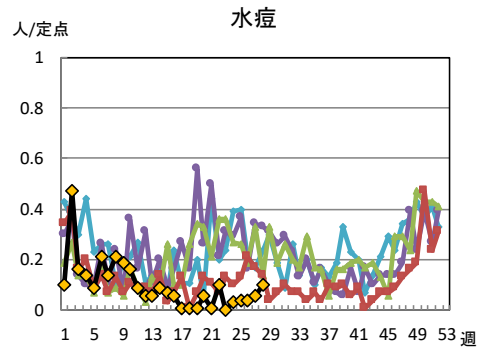
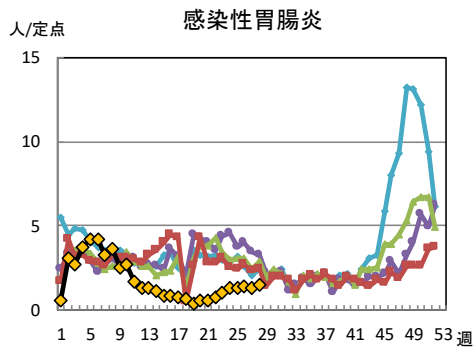
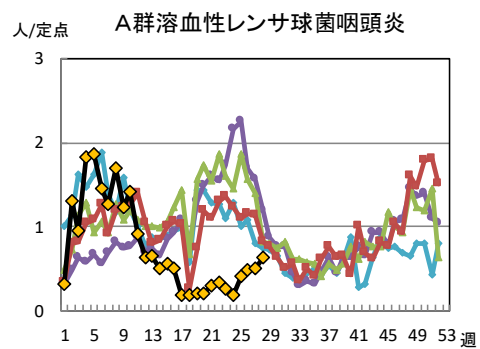
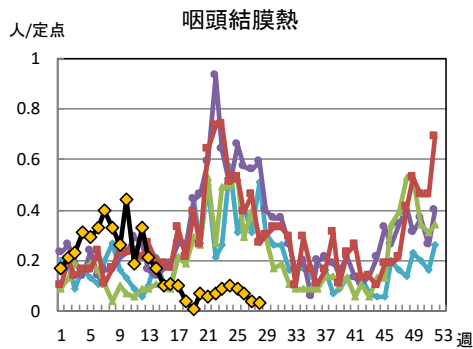
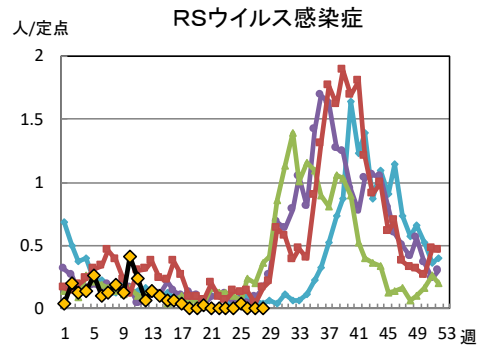
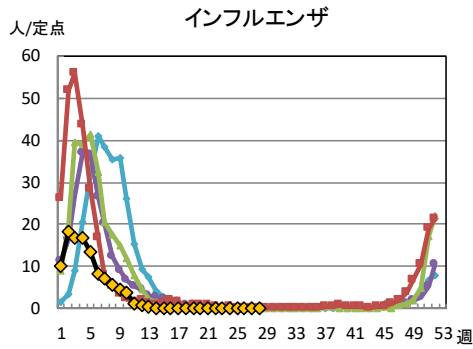
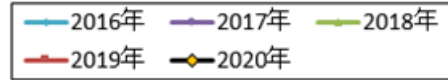
疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ																				

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症														
咽頭結膜熱			2											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	3	3	3	7	3	3	6	2	7		4
感染性胃腸炎		5	11	8	7	10	5	6	5	4	6	17	1	23
水痘		1						1	1			1	3	
手足口病			2		1	1		1						
伝染性紅斑			2									1		
突発性発しん		6	8	2	1									
ヘルパンギーナ		1	1		1		1	1	1					
流行性耳下腺炎					1		1	1						

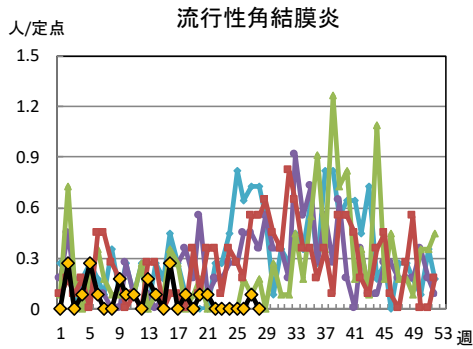
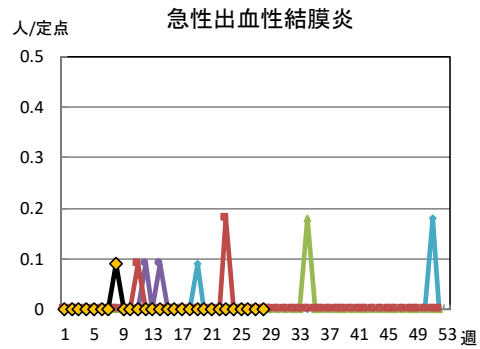
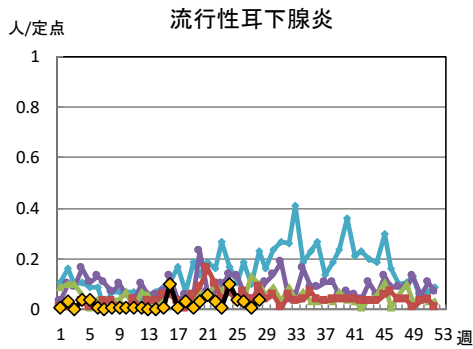
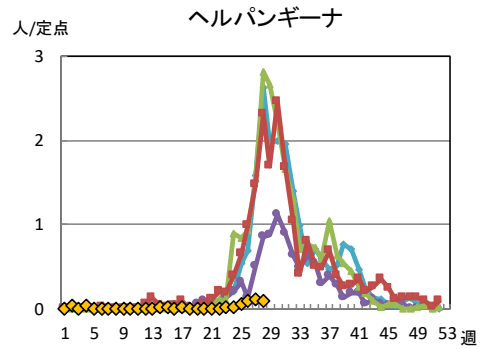
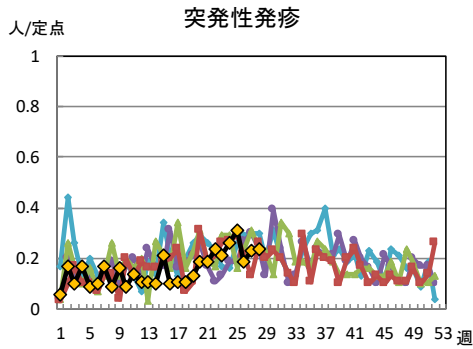
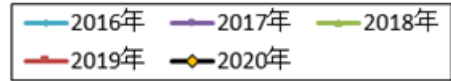
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎																			

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第28週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第28週まで



◆ 基幹病院定点月報の集計結果〔2020年6月分〕

基幹定点数：3（西部医療センター(北)、名古屋第二赤十字病院(昭和)、名古屋掖済会病院(中川)）

表1. 基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2020年6月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1		1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	1	0	1

表2. 基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2020年6月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1										1
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2020年6月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマ、性器ヘルペスウイルス感染症の順に多く、女性では性器ヘルペスウイルス感染症、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性145人、女性は40人でした。（表2、図1参照）

2020年6月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症は15歳以上の全ての年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は20歳以上の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは20歳から39歳、45歳から49歳および55歳以上の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳から34歳、40歳から44歳および50歳以上の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は15歳から34歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は0歳から14歳、20歳から54歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは15歳から29歳および40歳から44歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は15歳から29歳の年齢階級で報告がありました（表2、図2参照）。

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2020年6月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	2		7		8	33	6			14	3	1		3	2	2	81
性器ヘルペスウイルス感染症			4	1	2	7	4	1			10	2		4		2	37
尖圭コンジローマ			6			7				11				3	1	2	30
淋菌感染症	2		4		1	17	2			6	1	1		2		1	37
計	4		21	1	11	64	12	1		31	14	4		12	3	7	185

STD定点数

1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	1	15
---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2020年6月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		1	21	15	13	5	5	1	4	2	67
	女性		2	9	2	1						14
性器ヘルペスウイルス感染症	男性			3	6	3	3	1	1	1	4	22
	女性	1		4	2	3	1	1	2	1		15
尖圭コンジローマ	男性		1	3	5	6	3		5		1	24
	女性		1	1	1			3				6
淋菌感染症	男性		2	14	6	5		3		1	1	32
	女性		1	2	2							5
計	男性		4	41	32	27	11	9	7	6	8	145
	女性	1	4	16	7	4	1	4	2	1		40

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2020年6月)

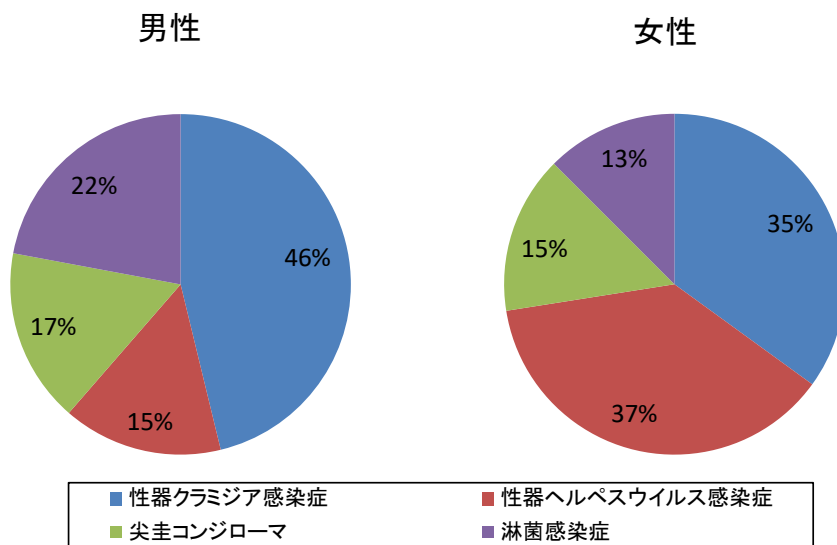


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2020年6月)

